

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の一人ひとりの思いや暮らし方の希望、また状況の把握に努めているが、職員間での日々の小さな情報の共有が不十分である。	利用者一人ひとりとのふれあいの中で、本人の希望や職員の気づきを共有し、日々のケアに活かし、生活の質の向上(本人本位の暮らし)をめざす。	日々の記録から一人ひとりの会話記録を重視し、職員全員が共有できるものとする。入居者担当職員を設置し、本人の希望を集約させる仕組みを作り上げる。	6ヶ月
2	52	ウッドデッキの活用が物干し場となっている。	利用者が自ら出て行けるような空間にする。	花を植えたり、オープンカフェ的な皆が集うことができる暖かみのある空間にしていく。日光浴など余暇活動に有効活用する。	6ヶ月
3	54	居室が殺風景である。	使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせる居室づくり。	ご家族などの協力を得て馴染みのものを持って来ていただき、家具やポータブルトイレの配置を考慮しながら居心地のよい居室づくりをする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月